

さわやかに奉仕活動

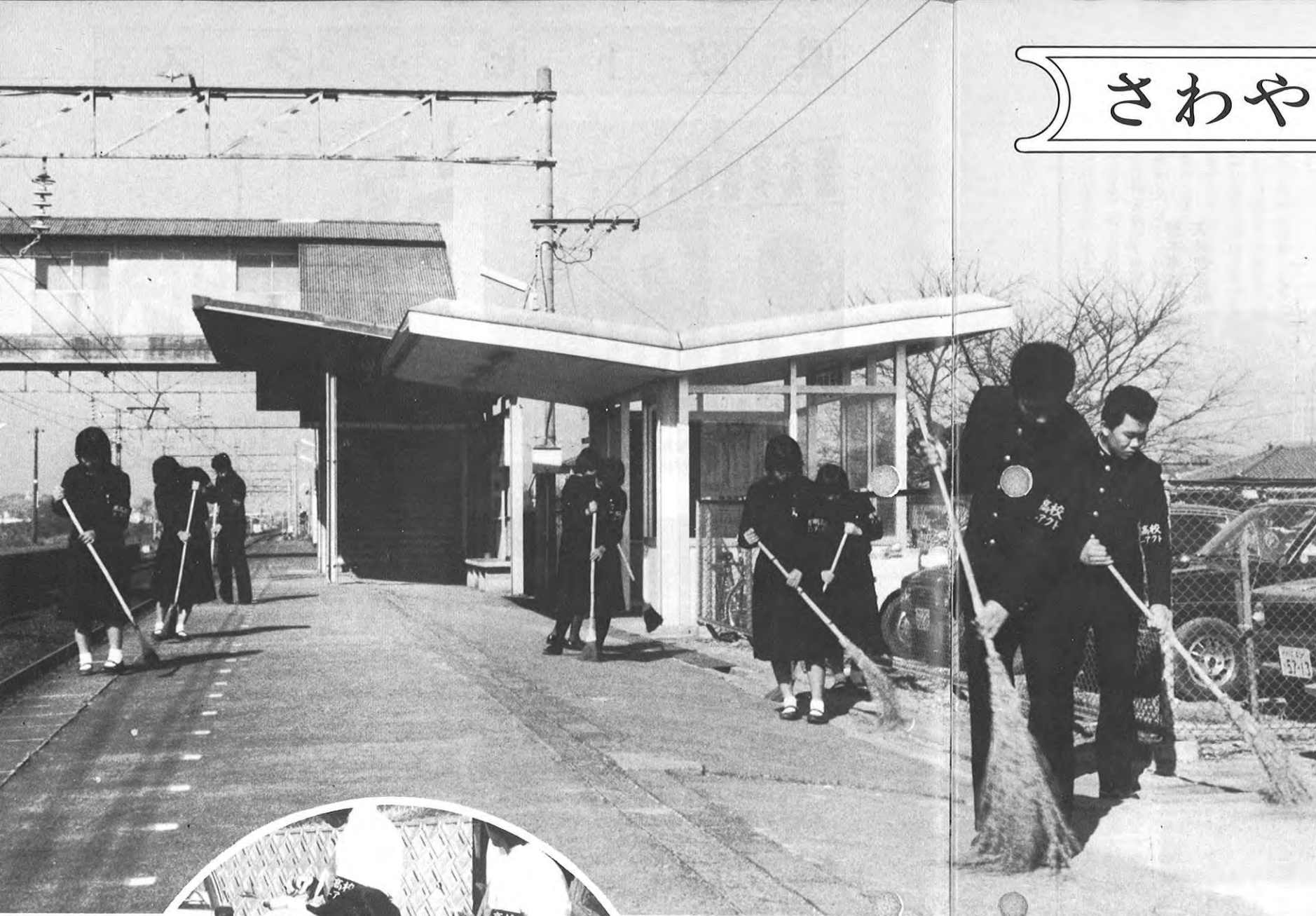
「有明高校インターアクトクラブ」

地域清掃や施設慰問と、学習の合い間に精力的な奉仕活動を行っている高校生サークルがある。私立有明高校インターアクトクラブで、その活躍ぶりは「さわやかボランティア」として市民の称賛を集めている。

同クラブは昭和四十九年、小さな親切運動を始めたのがきっかけで五十二年二月に正式発足した。会員は現在二十九人で各学年十人前後。顧問の片山盛雄先生の指導のもとに、毎月二回、活動の反省・計画会を開いている。

定例的活動は南荒尾駅、荒尾駅・バス停の清掃、老人ホーム「白寿園」などの慰問、学校文化祭・体育祭への老人招待、赤い羽根募金協力などで、このほか校内美化や点字・手話練習にも励んでいる。

生徒らは先輩が築いた奉仕精神を誇りに思っており、奉仕作業のあと「ありがとう」の一言がうれしいと言う。片山先生も「インターアクトの活動で一般生徒もボランティアの意義を知り、協力的になっていくし、礼儀もよくなり学校全体が非常に明るくなった」と語っている。



毎月1回の駅清掃（南荒尾駅）



インターアクトクラブのメンバー
(二年生 - 左は片山先生)



共同募金活動も卒先して